

講座

10

いのちを支える科学と社会を考える その2

オンライン併用

【会場定員】72名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『自然科学』いのちの科学 【時間】 毎回13時00分～14時30分 (計12回)

概要 前期に続いて後期でも、出産から健康な老後まで人のいのちを支える科学と社会の仕組みについて学びます。遺伝子診断、生殖医療などの進展に伴う課題について関係者から具体的な話をお聴きするほか、人が食する動植物の遺伝資源の危機と多様性保護の現況、さらに地域から地球に広がる環境といのちについて、皆さんとともに考える講座です。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	少子化と高齢化が重なった日本の未来図	アジア人口・開発協会 常務理事・事務局長 池上清子
2	10/7(月)		遺伝カウンセラーの仕事	認定遺伝カウンセラー 鈴木美慧
3	10/21(月)		障害のある人が語る出生前検査	**遠隔講義 明治学院大学 社会学部附属研究所 二階堂祐子
4	10/28(月)		提供精子・提供卵子の利用と「出自を知る権利」	(社)ドナーリンク・ジャパン 代表理事 仙波由加里
5	11/18(月)		「地球外知的生命」が見た気候危機	科学・環境ジャーナリスト、元毎日新聞論説委員 横山裕道
6	11/25(月)		黒毛和牛の畜産現場から伝える ～子牛および和牛肉の生産技術と方向性	鹿児島県立農業大学校畜産学部長 木之下明弘
7	12/2(月)		食の安定供給のために ～育種とバイオテクノロジー	くらしとバイオプラザ2 1 常務理事 佐々義子
8	12/9(月)		遺伝資源ジーンバンクと在来野菜の保存	農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源研究センター植物資源ユニット長 松井勝弘
9	12/16(月)		和食を支える魚の危機 ～変わりゆく日本近海の魚類	国立科学博物館 脊椎動物研究グループ 研究主幹 中江雅典
10	1/20(月)		陸上脊椎動物における皮膚の適応進化	東京工科大学 応用生物学部 化粧品コース 教授 松井毅
11	1/27(月)		命のための法制度 ～大気汚染被害からアスベストへ	東京経済大学客員教授、元環境再生保全機構理事 佐野郁夫
12	2/3(月)		科学はいのちの未来をどう変えるのか～市民が向き合う課題として	市民科学研究室代表 上田昌文

連絡事項 「**遠隔講義」では講師の先生は会場外からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。